

SOPRANO RECITAL

Program

カッチーニ アマリッリ
パイジェッロ うつろの心
トステイ 「アマランタの4つの歌」
ザンドナーイ「6つのメロディーエ」(1920) 他

《 SOPRANO 》

田中 樹里 JURI TANAKA

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程オペラ専攻修了。スウェーデン・ヨーテボリ大学音楽演劇学部オペラコースに留学。留学中、イギリス、ノルウェー、スウェーデン、スイスに於けるオーディションに合格し、ヨーテボリオペラに所属した。大学卒業時アカンサス音楽賞及び同声会賞受賞。野村国際文化財団奨学生としてイタリアでベルカント唱法を学ぶ。藝大定期オペラ「皇帝ティートの慈悲」セルヴィーリアでデビュー後、ラウレッタ、ミミ、ミカエラ、ネッダ、アルチーナ、つう、《魔笛》侍女2、《ラインの黄金》ヴェルグンデ、《耳なし芳一》奥女中若女、《天生》破戒神、《浦島太郎》竜宮の侍女等を演じる。2016年にJ.J.リバ「チェコのクリスマスミサ」日本初演ソリストを務め、チェコ共和国のラジオで放送。2017年には正岡子規生誕150年記念オペラ《病床六尺に生きる》初演で正岡子規の母 八重を歌う。近年日本歌曲にも積極的に取り組んでいる。これまで林康子、故朝倉蒼生、故穴戸悟郎、故ウバルド・ガルディーニ、森島英子、ビルギット・ルイス・フランドセンの各氏に師事。日本声楽家協会研究員。日本声楽アカデミー、横浜シテリオペラ各会員。カノン音楽教室講師。東京藝術大学附属音楽高等学校、目白大学非常勤講師。



《 PIANO 》

森島 英子 EIKO MORISHIMA

東京藝術大学卒業。中山靖子教授にピアノ独奏、中山健一教授にピアノ伴奏を師事。文化庁派遣芸術家在外研修員として、シュトゥットガルト音楽演劇大学に留学、コンラート・リヒター教授のもとでリート科を修了。在学中より伴奏ピアニストとして演奏活動を開始、伊原直子、高橋啓三、市原多朗、佐藤しのぶをはじめ多くの声楽家諸氏と共演している。オペラの分野でも、日本有数のコレパティートル、チェンバリストとして活躍。2007年「ボエム」で指揮者としてもデビューした。兵庫県立芸術文化センター佐渡裕プロデュースオペラ公演、日生劇場公演「マクロプロス家の事」、ジャパン・アーツ公演「夕鶴」等に、ミュージック・アドヴァイザーとしても参画し、オペラの日本語歌詞、字幕制作も手がける。また室内楽奏者として、ウィーン・フィルのコンサートマスター R・キュッヒル、W・ピンク、R・ホーネックの各氏や、ベルリン・フィル、NHK交響楽団の首席奏者等とデュオ、トリオなどを共演している。1994年度新日鉄音楽賞特別賞受賞。聖徳大学音楽学部教授。東京藝術大学講師。洗足学園音楽大学客員教授。日本声楽家協会コレパティートル会員。日本声楽アカデミー会員。

